

部長		課長		課長補佐		総括担当		設計		精算			
設計書番号								事業名		現年農地施設災害復旧事業費(補助・能登半島地震災害関連)			
余裕期間制度対象工事													
令和8年度													
実 施 設 計 書													
令和6年災 矢田部地内水路復旧工事													
設計金額 円 (内消費税額 円)													
工事位置		氷見市 矢田部 地内											
工期		当初着工		令和 年 月 日									
		当初竣工		令和9年3月19日				変更竣工					

令和6年災 矢田部地内水路復旧工事

氷見市

矢田部
復旧箇所

L=

地内

57.0

m

¥

円

(内消費税額

円)

工 期

令和

年

月

日

～ 令和

9年

3月

19日

< 工 事 内 容 >

2050 - 6228

復旧箇所

L= 57.0m

土工

1式

管水路工

ダクタイル鋳鉄管

15本

取壊工

1式

舗装工

表層

60m²

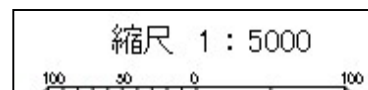
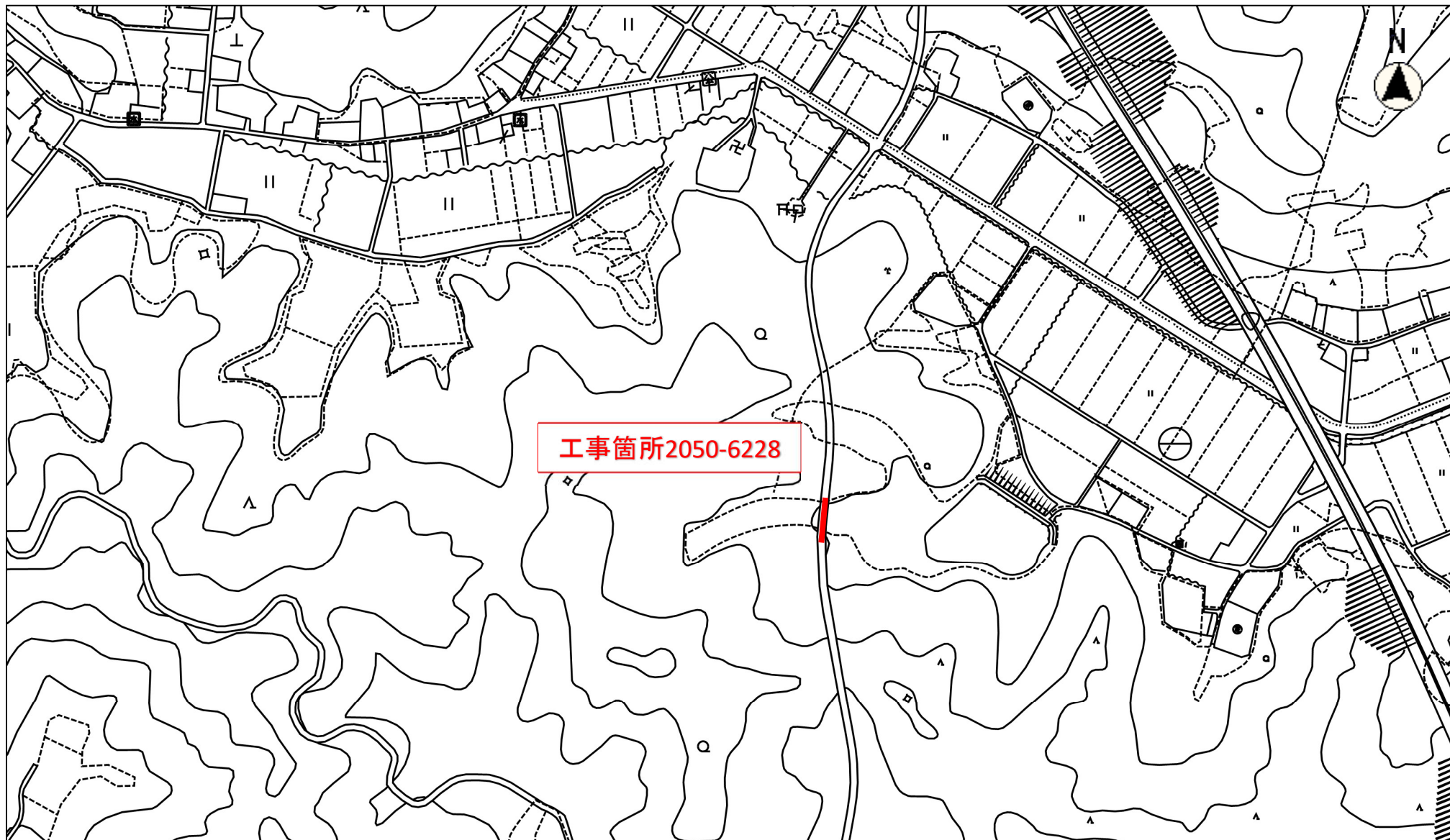
上層路盤

33m²

下層路盤

33m²

位置図



令和 6 年災 矢田部地内水路復旧工事 ー特別仕様書ー

この特別仕様書は、富山県農林水産部土木工事共通仕様書に定めのない個別事項について定めるものとする。

第 1 条 工事の内容

1 目 的

この工事は、令和 6 年に被災した農業用施設を復旧する工事を行うものである。

2 工事施工場所

氷見市 矢田部 地内

3 工事概要

設計図書のとおり

4 工 期

設計書のとおり

第 2 条 現場条件

- 1 丁張りの確認等必要に応じて、地元関係者の立会いを求めるものとする。その際の協議内容を記録として提出するものとする。
- 2 公道からの出入り等工事期間中の交通対策等については、工事の着手に先立ち道路管理者及び警察署に届出を行い、必要に応じ交通整理員を配置しなければならない。また、生活道路、作業道路の確保、安全対策について関係者と十分協議しなければならない。その際の協議内容を記録として施工計画書に添付するものとする。
- 3 工事箇所が存在する地下埋設物については、工事の着手に先立ち地下埋設物管理者と綿密な連絡をとり十分協調を保つとともに、工事の施工方法、埋設物の防護方法等について協議して施工しなければならない。この協議の記録を、書面をもって監督員に報告しなければならない。また、設計書に明示されていない埋設構造物が判明および発見されたときは、各管理者および監督員に報告し協議しなければならない。
- 4 湧水及び用排水については、利用状況を把握し、現況機能の確保及び処理方針を検討し、書面をもって監督員に報告しなければならない。この、検討結果により必要に応じて排水ポンプを設置するものとする。
- 5 申入れや要望等があった場合、書面をもって監督員に報告しなければならない。ただし、緊急を要する場合は、書面に先立って口頭での報告を優先するものとする。
- 6 不足土及び残土について、他工事との調整により流用等が可能な場合は、監督員からの指示により変更するものとする。
- 7 現場施工時に当初設計と異なる変状や周辺施設の被災等を確認した際は、別途協議の上、対応内容を協議するものとする。
- 8 施工箇所が周辺における他工事と重複する場合は、協議の上、必要に応じて施工方法や工程等の調整を監督員から指示するものとする。

第3条 監督員の段階確認

契約約款第14条に基づき、施工計画書において、工事段階確認の計画を行い、承認を受けた上で、監督員に立会求めるものとする

第4条 建設リサイクル法の対象建設工事（建設リサイクル法対象工事の場合）

- 1 本工事は、建設工事に係る資源の再資源化等に関する法律（以下「建設リサイクル法」という。）の対象建設工事であり、特定建設資材について分別解体等及び再資源化等を実施するものとする。
- 2 受注者は、建設リサイクル法12条に基づき、施工計画書に以下の内容を明記し、監督員へ説明するものとする。
 - ・解体工事である場合は、解体する建築物等の構造
 - ・新築工事等である場合は、使用する特定建設資材の種類
 - ・工事着手の時期及び工程の概要
 - ・分別解体等の計画
 - ・解体工事である場合は、解体する建築物等に用いられた建設資材の量の見込み
- 3 本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「6 解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と受注者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。
ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。

① 別解体等の方法

工程ごとの作業内容及び解体工法	工程	作業内容	分別解体等の方法 (解体工事のみ)
	① 仮設	仮設工事 □有■無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	② 土工	土工事 ■有□無	☐ 手作業 ☒ 手作業・機械作業の併用
	③ 基礎	基礎工事 □有■無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	④ 本体構造	本体構造の工事 □有■無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	⑤ 本体付属品	本体付属品の工事 □有■無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	⑥ その他 ()	その他の工事 □有■無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用

② 資源化等をする特定建設資材廃棄物の種類及び再資源化施設の場所

特定建設資材廃棄物の種類	再資源化等施設の場所	運搬距離
アスファルト殻	氷見市上田子	6.4km
土砂	氷見市上田子	6.7km

※上記②については積算上の明示条件であり、再資源化等施設を指定するものではない。

なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。

ただし、施設の受入が困難な場合等、受注者の責によるものでない事項については、監督員と協議の上、必要に応じて変更するものとする。

- 4 受注者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法１８条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督員に報告する。なお、書面は「建設リサイクルガイドライン（富山県土木部）（平成１４年６月）」に定めた様式１〔再生資源利用計画書（実施書）〕及び様式２〔再生資源利用促進計画書（実施書）〕を兼ねるものとする。

- ・再資源化が完了した年月日
- ・再資源化をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化に要した費用

- 5 受注者は、再資源化施設において適正に処分されていることが確認できる書類（マニフェスト等）を監督員に提示するとともに、運搬、処理を委託する場合は、産業廃棄物処理業者との委託契約書を提示するものとする。また、処理の一連の流れを証するものとして完成時に以下の書類を提出するものとする。

- ① 廃材の積込写真（車番、最大積載量が確認できるもの：対象 抽出）
- ② 仮置がある場合は、仮置場への搬入状況及び処分地へ搬出する際の廃材積込写真（車番、最大積載量が確認できるもの：対象 抽出）
- ③ 処分地への搬入状況（処分地がわかるもの：抽出）

第５条 工事材料

- 1 本工事に使用する資材等は、品質が水準以上であり、かつ価格が適正である場合には県内地場産品を優先使用するものとする。
- 2 資材搬入計画を施工計画書に明示するものとし、必要に応じてメーカーからの出荷予定表を添付する。
- 3 資材検収については、監督員の指示したものを対象とする。

第６条 安全対策

架空線の防護措置における防護管設置に係る費用は計上していないが、契約後、架空線管理者との協議により必要となった場合は、監督員と協議を行い、契約変更の対象とする。

第７条 請負代金内訳書の提出について

受注者は、請負代金内訳書を作成し、工事請負契約締結後７日以内に発注者に提出すること。

第８条 工事書類の簡素化の試行について

- 1 本工事は工事書類の簡素化を目的とした試行対象工事である。

- 2 試行は、工事書類は簡素化試行要領（案）（令和7年4月富山県農林水産部）に基づき、実施するものとする。
- 3 これらに定められていない場合は監督員と協議するものとする。

第9条 現場代理人兼務要件緩和の対象工事に該当する場合について

本工事における現場代理人の別工事との兼務について、兼務のできる工事の件数は、5件まで（同工種の場合に限る。工種が違う場合は3件まで、災害復旧工事以外の工事は、他の発注機関の工事を含め2件まで）とする。

ただし、兼務する工事に他の発注機関が含まれる場合、その発注機関に兼務が可能か否か事前に確認し、承認を受けるものとする。

第10条 週休2日工事（発注者指定型）

- 1 本工事は、週休2日工事であり、週休2日に取り組むこととする。
- 2 詳細は、「週休2日工事」試行要領によるものとし、富山県のホームページから入手できる。

第11条 余裕期間制度（フレックス方式）対象工事

- 1 本工事は、円滑な工事施工体制の確保を図るため、全体工期の範囲内で受注者が工事の始期及び終期を設定することができる工事であり、氷見市建設工事に係る余裕期間制度（フレックス方式）試行要領に基づき実施するものとする。
- 2 工事の始期の期限は契約日の翌日から90日以内、工事の終期の期限は、令和9年3月19日とする。
- 3 受注者は、工事の始期後14日以内に施工計画書を発注者に提出するものとする。
- 4 受注者は、受注時のコリンズ（CORINS）への登録については、工事の始期10日（休日を除く。）以内に登録するものとする。
- 5 受注者は、工事の始期後に速やかに、退職金制度届書を発注者に提出するものとする。
- 6 余裕期間内に行う資機材の準備及び、技能労働者の手配などの準備等に 必要な現地への立入り（工事着手以外の行為とする）については、発注者に了解を得るとともに関係法令等に基づく必要な手続きを行うものとする。
- 7 受注者が工事の始期及び終期を設定する場合、契約締結前に工事の始終期通知書により工事の始期及び終期を担当部署に通知するものとする。
- 8 その他この特記仕様書に記載のないことについては、氷見市建設工事に係る余裕期間制度（フレックス方式）試行要領によるものとする。

第12条 その他

- 1 請負者は、工事着手前及び工事中、その都度、工事内容を近隣住民に周知をし、協力を求めるために必要な措置を講じなければならない。
- 2 請負者は、工事に先立ち掘削位置、工法、交通保安設備等について関係官公署への手続きを行い、許可条件、指示事項等の確認をしなければならない。
- 3 周辺道路の状況を確認し、敷鉄板敷設が必要と判断される場合には、発注者と協議すること。また、敷鉄板の仮設使用にあたっては、発注者及び関係者との協議・立会を行い、確実に現状回復を図ること。
- 4 その他、定めがない事項について疑義が生じた場合は、その都度、監督員に報告し協議するものとする。
- 5 本工事箇所は近隣にて道路災害復旧工事の実施が予定されているため、工事実施の際は、関係者との連絡を密にし、工程等の調整を行うこと。

総括情報表

事務所 設計書名 変更回数	1010 ふるさと整備課 実施設計書 当初 0			
適用単価 適用単価地区 単価適用年月日	1 実施単価 26 氷見地区 0-08.08.15(0)			
諸経費体系	1 農地			
	当 世 代	前 世 代		
前払率 諸経費工種 電力区分（1） 電力区分（2） 豪雪地域補正 冬期労務補正 週休2日工事区分 施工地域区分 契約保証区分 現場環境改善費区分 消費税率（％）	40 08 畑かん施設工事 01 臨時低圧電力 10 他季1 01 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 11 一般交通影響有り(2) 03 補正なし 00 計上しない 10			

本工事費内訳表

頁0-0002

	費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本工事費										X1000	
管水路工事										Y1107	
土工										Y210107	
	床掘り〔バックホ〕 土砂 施工方法 平均施工幅1m以上2m未満									SP2010 0 A=1, B=2, C=1, D=1, F=2 施工 第0-0001号表	
		52		m3							
	路床盛土 施工幅員 2.5m以上4.0m未満									SP2005 0 A=2, E=2, F=2 施工 第0-0002号表	
		30		m3							
	土砂等運搬〔バックホ積込〕 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)									SP2002 0 A=1, B=3, C=1, D=1, E=17 施工 第0-0003号表	
		29		m3							
処分費等										#0046	
	公共用残土仮置場（搬入）									TST07 0	
		29		m3							
管水路工										Y210104	

本工事費内訳表

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
ダクタイル鋳鉄管人力布設 直管 管径φ100mm T形 3種									S0176 0 A=1, B=2, C=4	
	15		本						施工 第0-0004号表	
管水路基礎 砂・砂質土 購入土 コンパクタ 締固 I									S0122 0 A=2, B=2, C=1	
	40		m3						施工 第0-0005号表	
土砂等運搬[バックホ積込] 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)									SP2002 0 A=1, B=3, C=1, D=1, E=17	
	53		m3						施工 第0-0003号表	
公共用残土仮置場 (搬出)									TST57 0	
	53		m3							
取壊工									Y210107	
舗装版切断[As] アスファルト舗装版									SP4028 0 A=1, B=1, E=1	
	24		m						施工 第0-0006号表	
舗装版破碎[As] アスファルト舗装版 障害等 無し									SP4027 0 A=1, B=1, C=1, D=4, F=1, H=2	
	60		m ²						施工 第0-0007号表	
ダンプトラック運搬 ダンプトラック 通称 4 t 積級 アスファルト塊									S5116 0 A=2, B=4, D=6. 4, E=2, F=3, G=2	
	3		m3						施工 第0-0008号表	
処分費等									#0046	

本工事費内訳表

頁0-0004

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	アスファルト廃材処理費									TAK23	0
		3	m3								
舗装工										Y210107	
	下層路盤（車道・路肩部） 全仕上り厚200mm 再生骨材 R C - 40									SP4002	0 A=200, B=1, C=1, D=1, E=2, F=2
		33	m ²							施工	第0-0010号表
	上層路盤（車道・路肩部） 全仕上り厚100mm 粒度調整砕石 M - 30									SP4004	0 A=1, D=100, E=1, G=1, K=2, M=2, O=1
		33	m ²							施工	第0-0011号表
	表層（車道・路肩部）[密粒度(20FA)再生] 平均仕上げ厚50mm 1. 4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)									SP4007	0 A=1, B=50, C=6, D=2, E=1, L=2, M=2
		125	m ²							施工	第0-0012号表
	表層（車道・路肩部）[密粒度(20FA)再生] 平均仕上げ厚50mm 1. 4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)									SP4007	0 A=1, B=50, C=6, D=2, E=1, L=2, M=3
		60	m ²							施工	第0-0013号表
	不陸整正[補足材料 無し]									SP4001	0 A=1, E=2, F=2
		27	m ²							施工	第0-0014号表
	区画線工（溶融式・手動） 実線 15cm									SHK002	0 A=1, C=1, D=1, E=1, F=1, H=1, I=1, J=1, K=1, L=1
		10	m							施工	第0-0015号表
直接工事費											

氷 見 市

本工事費内訳表

頁0-0005

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
共通仮設費 (積上げ分)											
共通仮設費 (率分)											
					式						
共通仮設費計											
純工事費											
現場管理費											
					式						
工事原価											
一般管理費等											
					式						
工事価格											
消費税・地方 消費税相当額											
					式						

式
氷 見 市

本工事費内訳表

頁0-0006

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
請負対象工事費											
工事価格計											
消費税・地方 消費税相当額											
請負対象工事費計											

施 工 内 訳 表

[名 称] 床掘り[バックホ]			1 m3 当り		
[規格1] 土砂			[規格2] 施工方法 平均施工幅1m以上2m未満		
機械構成比： 18.84%			標準単価： 304.18		
労務構成比： 66.89%			市場単価構成比： 0.00%		
材料構成比： 14.27%					
代 表 機 労 材 規 格		構 成 比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)
バックホウ賃料		18.84%		バックホウ (クローラ型) [後方超小旋回型]山積0.45m3(平積0.35m3)	TVA97
特殊運転手		66.89%		運転手 (特殊)	R0010
軽油 (パトロール給油)		14.27%		軽油 パトロール給油	T5106
積算単価				積算単価	EP001
A=1 土砂				B=2 平均施工幅1m以上2m未満	
C=1 土留 無し				D=1 障害 無し	
F=2 割引無し (バックホ 後方超小旋回 0.45m3)					

施 工 内 訳 表

[名 称] 路床盛土			[規格 2]			1	m3	当り
[規格 1] 施工幅員 2.5m以上4.0m未満			[規格 2]					
機械構成比： 14.57%			労務構成比： 76.80%			材料構成比： 8.63%		
						市場単価構成比： 0.00%		
						標準単価： 944.74		
代 表 機 労 材 規 格		構 成 比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)		単価(東京地区)	備 考	
振動ローラ賃料		7.30%		振動ローラ（舗装用） [搭乗・コンバインド式] 質量3～4 t			TVH42	
バックホウ賃料		7.27%		バックホウ（クローラ型） [後方超小旋回型]山積0.28m3(平積0.2m3)			TVA95	
特殊運転手		68.29%		運転手（特殊）			R0010	
普通作業員		8.51%		普通作業員			R0002	
軽油 (パトロール給油)		8.63%		軽油 パトロール給油			T5106	
積算単価				積算単価			EP001	
A=2 F=2	2.5m以上4.0m未満 割引無し（振動ローラ 搭乗・コンバインド式 3～4t）			E=2	割引無し（バックホウ 後方超小旋回 0.28m3）			

施 工 内 訳 表

[名 称] 土砂等運搬[バックホ積込]			1 m3 当り		
[規格1] 標準			[規格2] 土砂(岩塊・玉石混り土含む)		
機械構成比： 42.89%			労務構成比： 41.78%	材料構成比： 15.33%	市場単価構成比： 0.00%
			標準単価： 1,641.1		
代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック (オンロード・ディーゼル) 通称10 t 積級	42.89%		ダンプトラック		M0305
一般運転手	41.78%		運転手 (一般)		R0011
軽油 (パトロール給油)	15.33%		軽油 パトロール給油		T5106
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=17 7.5km以下			B=3 バックホ バケット容量0.45m3 D=1 DID区間 無し		

施 工 内 訳 表

[名 称] ダクタイル鋳鉄管人力布設						10	本	当り
[規格1] 直管						[規格2] 管径φ100mm T形 3種		
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単	価	金	額	備 考
ダクタイル鋳鉄管	10.00		本					T0930
特殊作業員			人					R0001
普通作業員			人					R0002
合計	10		本					
単位当り	1		本					
A=1 直管 C=4 T形 3種				B=2	管径φ100mm			

施 工 内 訳 表

[名 称] 管水路基礎						10	m3	当り
[規格1] 砂・砂質土 購入土			[規格2] コンパクト 締固 I					
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単	価	金	額	備 考
購入土	13.20	m3						T7077
土木一般世話役			人					R0047
特殊作業員			人					R0001
普通作業員			人					R0002
諸雑費			%					#01
バックホウ賃料			供用日					TVA84
軽油 (パトロール給油)			L					T5106
特殊運転手			人					R0010
合計	10	m3						
単位当り	1	m3						
A=2 C=1	砂・砂質土 購入土 コンパクト 締固 I			B=2 G=1	バックホウ バケット容量0.45 割引有り (バックホ 0.45m3)			

SP4028

施 工 内 訳 表

施工 第0-0006号表

頁0-0012

[名 称] 舗装版切断[As]			1 m 当り		
[規格 1] アスファルト舗装版			[規格 2]		
機械構成比： 14.40%			労務構成比： 58.90%	材料構成比： 26.70%	市場単価構成比： 0.00%
			標準単価： 731.83		
代 表 機 労 材 規 格		構 成 比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価(東京地区)
コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 通称(切削深)20cm級 ブレード径56cm		9.80%		コンクリートカッタ	M2001
その他(機械)				その他(機械)	EK009
特殊作業員		20.20%		特殊作業員	R0001
土木一般世話役		10.89%		土木一般世話役	R0047
普通作業員		9.00%		普通作業員	R0002
その他(労務)				その他(労務)	ER009
コンクリートカッター用ブレード φ 450mm (ダイヤ)		22.47%		コンクリートカッタ (ブレード) 径 1 8 インチ	T5560
ガソリン レギュラー		2.88%		ガソリン レギュラー スタンド	T5101
その他(材料)				その他(材料)	EZ009
積算単価				積算単価	EP001
A=1 E=1	アスファルト舗装版 全ての費用			B=1 15cm以下	

氷 見 市

SP4027

施 工 内 訳 表

施工 第0-0007号表

頁0-0013

[名 称] 舗装版破碎[As]			1 m ² 当り		
[規格1] アスファルト舗装版			[規格2] 障害等 無し		
機械構成比： 12.28%			標準単価： 227.41		
労務構成比： 81.66%			市場単価構成比： 0.00%		
材料構成比： 6.06%					
代 表 機 労 材 規 格		構 成 比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)
バックホウ賃料		12.28%		バックホウ (クローラ型) [後方超小旋回型]山積0.45m3(平積0.35m3)	TVA97
土木一般世話役		29.51%		土木一般世話役	R0047
特殊運転手		27.76%		運転手 (特殊)	R0010
普通作業員		24.39%		普通作業員	R0002
軽油 (パトロール給油)		6.06%		軽油 パトロール給油	T5106
積算単価				積算単価	EP001
A=1	アスファルト舗装版			B=1	障害等 無し
C=1	騒音振動対策 不要			D=4	15cm以下
F=1	積込作業 有り			H=2	割引無し (バックホ 後方超小旋回 0.45m3)

施 工 内 訳 表

[名 称] ダンプトラック運搬						1	m3	当り
[規格1] ダンプトラック 通称 4 t 積級			[規格2] アスファルト塊					
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単	価	金	額	備 考
ダンプトラック運転経費 ダンプトラック 通称 4 t 積級			時間					S5910 施工 第0-0009号表 A=2, B=3, C=2
m3当り単価			m3					+00
＊＊単位当り＊＊	1		m3					
A=2 ダンプトラック 通称 4 t 積級 D=6. 4 運搬距離 (km) F=3 補正係数 β 4. 8 H=0 修正サイクルタイム				B=4 アスファルト塊 E=2 タイヤ損耗区分 普通 G=2 積込機種バッホウ バケット容量0. 45m3				

S5910

施 工 内 訳 表

施工 第0-0009号表

頁0-0015

[名 称] ダンプトラック運転経費						1	時間	当り
[規格1] ダンプトラック 通称 4 t 積級			[規格2]					
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単	価	金	額	備 考
ダンプトラック (オンロード・ディーゼル) 通称4 t 積級			時間					M0302
タイヤ損耗費			時間					M9990
一般運転手			人					R0011
軽油 (パトロール給油)			L					T5106
単位当り	1		時間					
A=2 ダンプトラック 通称 4 t 積級 C=2 損耗区分普通				B=3	岩石補正	0%		

SP4002

施 工 内 訳 表

施工 第0-0010号表

頁0-0016

[名 称] 下層路盤（車道・路肩部）			1 m ² 当り		
[規格1] 全仕上り厚200mm			[規格2] 再生骨材 R C - 40		
機械構成比： 5.50% 労務構成比： 18.62%			材料構成比： 75.88% 市場単価構成比： 0.00%		
			標準単価： 1,337.9		
代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
モータグレーダ 土工用 ブレード幅3.1m 排出ガス対策型（2014年規制）	3.81%		モータグレーダ		MHB601
ロードローラ賃料	0.47%		ロードローラ [マカダム] 質量10 t		TVH01
タイヤローラ賃料	0.46%		タイヤローラ 質量13～14 t		TVH23
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊運転手	8.20%		運転手（特殊）		R0010
普通作業員	3.00%		普通作業員		R0002
特殊作業員	2.68%		特殊作業員		R0001
土木一般世話役	2.17%		土木一般世話役		R0047
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生砕石 (R C - 40)	74.09%		クラッシュラン C - 40		T7105
軽油 (パトロール給油)	1.55%		軽油 パトロール給油		T5106

氷 見 市

SP4002

施 工 内 訳 表

施工 第0-0010号表

頁0-0017

[名 称] 下層路盤（車道・路肩部）			1 m ² 当り		
[規格1] 全仕上り厚200mm			[規格2] 再生骨材 R C - 40		
機械構成比： 5.50% 労務構成比： 18.62% 材料構成比： 75.88%			市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1,337.9		
代 表 機 労 材 規 格		構 成 比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単 価 (東京地区)
その他 (材料)				その他 (材料)	EZ009
積算単価				積算単価	EP001
A=200 全仕上り厚 (mm)				B=1 1層施工	
C=1 再生骨材 R C - 40				D=1 割り増しなし	
E=2 割引無し (タイヤローラ 普通型 質量13t)				F=2 割引無し (マカダムローラ 質量10 t)	

SP4004

施 工 内 訳 表

施工 第0-0011号表

頁0-0018

[名 称] 上層路盤（車道・路肩部）			1 m ² 当り		
[規格1] 全仕上り厚100mm			[規格2] 粒度調整碎石 M-30		
機械構成比： 11.39%			標準単価： 646.43		
労務構成比： 38.57%			市場単価構成比： 0.00%		
材料構成比： 50.04%					
代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
モータグレーダ 土工用 ブレード幅3.1m 排出ガス対策型（2014年規制）	7.88%		モータグレーダ		MHB601
ロードローラ賃料	0.98%		ロードローラ [マカダム] 質量10 t		TVH01
タイヤローラ賃料	0.96%		タイヤローラ 質量13～14 t		TVH23
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊運転手	16.98%		運転手（特殊）		R0010
普通作業員	6.21%		普通作業員		R0002
特殊作業員	5.55%		特殊作業員		R0001
土木一般世話役	4.51%		土木一般世話役		R0047
その他(労務)			その他(労務)		ER009
粒度調整碎石 (M-30)	46.32%		再生粒度調整碎石 RM-40		T7117
軽油 (パトロール給油)	3.21%		軽油 パトロール給油		T5106

氷 見 市

SP4004

施 工 内 訳 表

施工 第0-0011号表

頁0-0019

[名 称] 上層路盤（車道・路肩部）			1 m ² 当り		
[規格1] 全仕上り厚100mm			[規格2] 粒度調整碎石 M-30		
機械構成比： 11.39%			標準単価： 646.43		
労務構成比： 38.57%			市場単価構成比： 0.00%		
材料構成比： 50.04%					
代 表 機 労 材 規 格		構 成 比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単 価 (東京地区)
その他 (材料)				その他 (材料)	EZ009
積算単価				積算単価	EP001
A=1	粒度調整碎石	M-30		D=100	全仕上り厚 (mm)
E=1	1層施工			G=1	割り増しなし
K=2	割引無し (タイヤローラ 普通型 質量13t)			M=2	割引無し (マカダムローラ 質量10 t)
O=1	全ての費用				

施 工 内 訳 表

頁0-0020

SP4007

施工 第0-0012号表

[名 称] 表層（車道・路肩部）[密粒度(20FA)再生]			1 m ² 当り		
[規格1] 平均仕上げ厚50mm			[規格2] 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)		
機械構成比： 0.42% 労務構成比： 44.56%			材料構成比： 55.02% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 3,034.7		
代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
振動ローラ（舗装用） ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6 t	0.23%		振動ローラ（舗装用）		M1730
振動コンパクタ 前進型 通称 40～60kg級	0.13%		振動コンパクタ（前進型）		M1754
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.70%		特殊作業員		R0001
普通作業員	14.12%		普通作業員		R0002
土木一般世話役	4.27%		土木一般世話役		R0047
その他(労務)			その他(労務)		ER009
アスファルト合材 再生材入り（小口） 密粒度アスコン(20FA)（100t未満）	50.19%		密粒度アスコン（20） 平均仕上がり厚50mm		T7186 計上なし
アスファルト乳剤 PK-3	4.60%		アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用		T4872 計上なし
ガソリン レギュラー	0.17%		ガソリン レギュラー スタンド		T5101 計上なし
軽油 （パトロール給油）	0.03%		軽油 パトロール給油		T5106 計上なし

氷 見 市

施 工 内 訳 表

頁0-0021

SP4007

施工 第0-0012号表

[名 称] 表層（車道・路肩部）[密粒度(20FA)再生]			1 m ² 当り		
[規格1] 平均仕上げ厚50mm			[規格2] 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)		
機械構成比： 0.42%			労務構成比： 44.56%	材料構成比： 55.02%	市場単価構成比： 0.00%
			標準単価：		3,034.7
代 表 機 労 材 規 格		構 成 比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)
その他(材料)				その他(材料)	EZ009
					計上なし
積算単価				積算単価	EP001
A=1	1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)			B=50	1層当り平均仕上り厚 (mm)
C=6	密粒度アスコン (20FA) 再生材入り			D=2	プライムコート PK-3
E=1	割り増しなし			L=2	アスファルト合材小口割増あり (100 t 未満)
M=2	機械費、労務費のみ (1日未満用)				

SP4007

施 工 内 訳 表

施工 第0-0013号表

頁0-0022

[名 称] 表層（車道・路肩部）[密粒度(20FA)再生]			1 m ² 当り			
[規格 1] 平均仕上げ厚50mm			[規格 2] 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)			
機械構成比： 0.42%			労務構成比： 44.56%			
材料構成比： 55.02%			市場単価構成比： 0.00%			
			標準単価： 3,034.7			
代 表 機 労 材 規 格		構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
振動ローラ（舗装用） ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6 t		0.23%		振動ローラ（舗装用）		M1730 計上なし
振動コンパクタ 前進型 通称 40～60kg級		0.13%		振動コンパクタ（前進型）		M1754 計上なし
その他(機械)				その他(機械)		EK009 計上なし
特殊作業員		19.70%		特殊作業員		R0001 計上なし
普通作業員		14.12%		普通作業員		R0002 計上なし
土木一般世話役		4.27%		土木一般世話役		R0047 計上なし
その他(労務)				その他(労務)		ER009 計上なし
アスファルト合材 再生材入り（小口） 密粒度アスコン(20FA)（100t未満）		50.19%		密粒度アスコン（20） 平均仕上がり厚50mm		T7186
アスファルト乳剤 PK-3		4.60%		アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用		T4872
ガソリン レギュラー		0.17%		ガソリン レギュラー スタンド		T5101
軽油 （パトロール給油）		0.03%		軽油 パトロール給油		T5106

氷 見 市

SP4007

施 工 内 訳 表

施工 第0-0013号表

頁0-0023

[名 称] 表層（車道・路肩部）[密粒度(20FA)再生]			1 m ² 当り		
[規格1] 平均仕上げ厚50mm			[規格2] 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)		
機械構成比： 0.42%			労務構成比： 44.56%	材料構成比： 55.02%	市場単価構成比： 0.00%
			標準単価：		3,034.7
代 表 機 労 材 規 格		構 成 比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)
その他(材料)				その他(材料)	EZ009
積算単価				積算単価	EP001
A=1	1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)			B=50	1層当り平均仕上り厚 (mm)
C=6	密粒度アスコン (20FA) 再生材入り			D=2	プライムコート PK-3
E=1	割り増しなし			L=2	アスファルト合材小口割増あり (100 t 未満)
M=3	材料費のみ (1日未満用)				

施 工 内 訳 表

[名 称] 不陸整正[補足材料 無し]			[規格 2]			1	m ²	当り
[規格 1]			[規格 2]					
機械構成比： 20.65%			労務構成比： 72.60%			材料構成比： 6.75%		
						市場単価構成比： 0.00%		
						標準単価： 182.07		
代 表 機 労 材 規 格		構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)		単価(東京地区)	備 考	
モータグレーダ 土工用 ブレード幅3.1m 排出ガス対策型 (2014年規制)		16.56%		モータグレーダ			MHB601	
ロードローラ賃料		2.07%		ロードローラ [マカダム] 質量10 t			TVH01	
タイヤローラ賃料		2.02%		タイヤローラ 質量13～14 t			TVH23	
特殊運転手		35.73%		運転手 (特殊)			R0010	
普通作業員		14.71%		普通作業員			R0002	
特殊作業員		11.49%		特殊作業員			R0001	
土木一般世話役		10.67%		土木一般世話役			R0047	
軽油 (パトロール給油)		6.75%		軽油 パトロール給油			T5106	
積算単価				積算単価			EP001	
A=1 F=2	補足材料 無し 割引無し (マカダムローラ 質量10 t)			E=2	割引無し (タイヤローラ 普通型 質量13t)			

施 工 内 訳 表

[名 称] 区画線工 (溶融式・手動)						1	m	当り
[規格 1] 実線 15cm			[規格 2]					
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単	価	金	額	備 考
区画線設置[溶融式][供用区間] 実線15cm 時間制約無 昼間	1, 000. 00		m					TL401
路面標示用塗料 白色 溶融型 JIS K5665 3種1号	570. 00		kg					T5234
ガラスビーズ JIS R3301 1 号 (0. 106～0. 850mm)	25. 00		kg					T5242
プライマー アスファルト舗装用	25. 00		kg					T5240
軽油 (パトロール給油)			L					T5106
諸雑費			%					#01
m当たり			m					+00
＊ ＊単位当り ＊ ＊	1		m					
A=1 全ての費用 D=1 15cm F=1 標準 (昼間)				C=1 実線 E=1 時間的制約無し H=1 白色				
I=1 ペイント厚1. 5mm K=1 排水性舗装以外				J=1 アスファルト舗装 L=1 供用区間				

機 労 材 集 計 表

頁0-0026

項番	単価 コード	集計 区分	単 価 値	数量累計	単 位	単 価 名 称	集 計 区 分 名 称
1	M0302	177			時間	ダンプトラック（オンロード・ディーゼル）	運搬機械損料
2	M0305	177			時間	ダンプトラック（オンロード・ディーゼル）	運搬機械損料
3	M1730	182			時間	振動ローラ（舗装用）	締固め機械損料
4	M1730	182			時間	振動ローラ（舗装用）	締固め機械損料
5	M1754	182			日	振動コンパクタ	締固め機械損料
6	M1754	182			日	振動コンパクタ	締固め機械損料
7	M2001	184			日	コンクリートカッタ	舗装機械損料
8	M9990	198			時間	タイヤ損耗費	機械損耗費
9	MHB601	181			時間	モータグレーダ	路盤用機械損料
10	R0001	150			人	特殊作業員	公共工事設計労務単価
11	R0001	150			人	特殊作業員	公共工事設計労務単価
12	R0002	150			人	普通作業員	公共工事設計労務単価
13	R0002	150			人	普通作業員	公共工事設計労務単価
14	R0010	150			人	特殊運転手	公共工事設計労務単価
15	R0011	150			人	一般運転手	公共工事設計労務単価
16	R0047	150			人	土木一般世話役	公共工事設計労務単価
17	R0047	150			人	土木一般世話役	公共工事設計労務単価
18	T0930	8	15		本	ダクティル鑄鉄管	鑄鉄管類
19	T4872	64			L	アスファルト乳剤	A s 乳剤
20	T4872	64			L	アスファルト乳剤	A s 乳剤
21	T5101	132			L	ガソリン	ガソリン
22	T5101	132			L	ガソリン	ガソリン
23	T5106	133			L	軽油	軽油
24	T5106	133			L	軽油	軽油
25	T5234	138	5.7		kg	路面標示用塗料 白色 熔融型	塗料類
26	T5240	138	0.25		kg	プライマー	塗料類
27	T5242	138	0.25		kg	ガラスビーズ	塗料類
28	T5560	181	0		枚	コンクリートカッター用ブレード	路盤用機械損料
29	T7077	109	52.8		m3	購入土	山砂・山土砂
30	T7105	108	0		m3	再生碎石	道路用碎石
31	T7117	108	0		m3	粒度調整碎石	道路用碎石
32	T7186	63	0		t	アスファルト合材 再生材入り（小口）	A s 合材
33	T7186	63	0		t	アスファルト合材 再生材入り（小口）	A s 合材
34	TAK23	114	3		m3	アスファルト廃材処理費	アスファルト廃材処理費
35	TL401	145	10		m	区画線設置[熔融式][供用区間]	標準単価
36	TST07	110	29		m3	公共用残土仮置場（搬入）	公共用残土

氷 見 市

機 材 集 計 表

頁0-0027

項番	単価 コード	集計 区分	単 価 値	数量累計	単 位	単 価 名 称	集 計 区 分 名 称
37	TST57	110		53	m3	公共用残土仮置場（搬出）	公共用残土
38	TVA84	199			日	バックホウ賃料	リース料
39	TVA95	199			日	バックホウ賃料	リース料
40	TVA97	199			日	バックホウ賃料	リース料
41	TVH01	199			日	ロードローラ賃料	リース料
42	TVH23	199			日	タイヤローラ賃料	リース料
43	TVH42	199			日	振動ローラ賃料	リース料

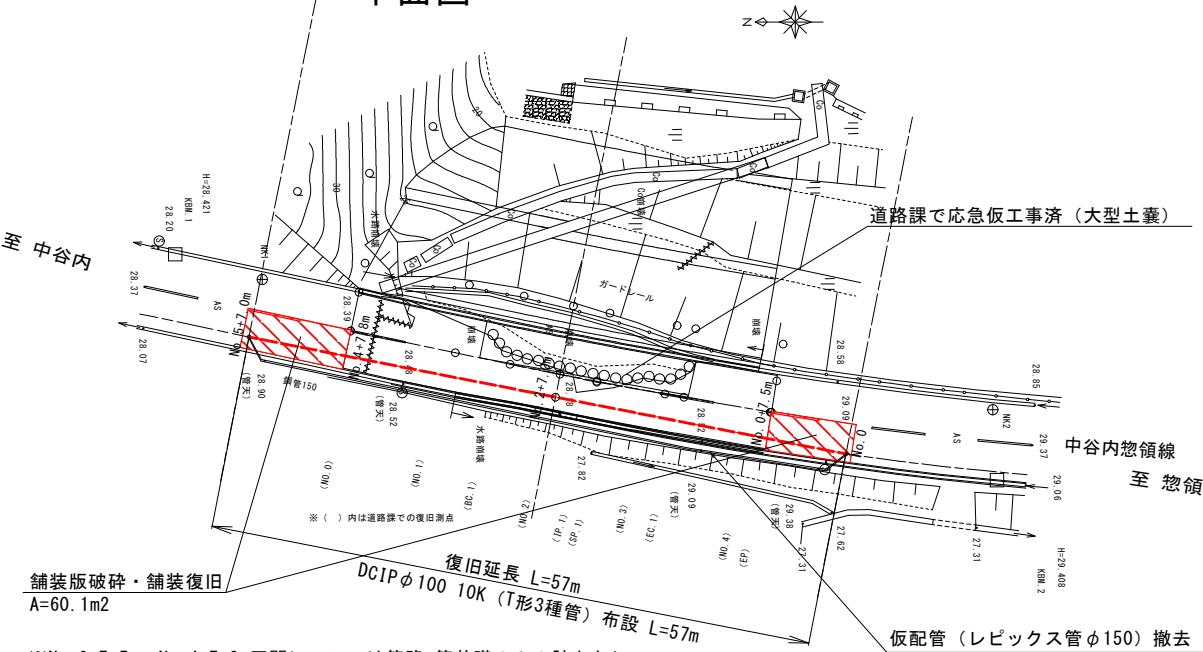
6228

数量総括表

工 種		計算式	単位	数 量
土 工				
	床堀	$2.00 \times 1.55 \times 16.70 = 51.8$	m3	52
	路床盛土(購入土)	$2.00 \times 0.90 \times 16.70 = 30.1$	m3	30
	残土運搬・処分	$(51.8 - 30.1) \times 1.33 = 28.9$	m3	29
管水路工				
	DCIP ϕ 100 T形 3種管布設(4m/本)	$57 / 4 = 14.25$	本	15
	管基礎(砂質土)	$2.00 \times 0.35 \times 57.0 = 39.9$	m3	40
	購入土運搬	$39.9 \times 1.33 = 53.1$	m3	53
取壊工				
	舗装版切断	23.90	m	24
	舗装版破碎	60.10	m2	60
	AS殻運搬・処分	3.00	m3	3.0
舗装工				
	下層路盤(RC-40 t=200)	33.40	m2	33
	上層路盤(M-30 t=100)	33.40	m2	33
	小規模AS舗装工(20FA t=50)	60.10	箇所	1
	不陸整正(補足材無し)	26.70	m2	27
	区画線(溶融式 W=0.15)	10.00	m	10

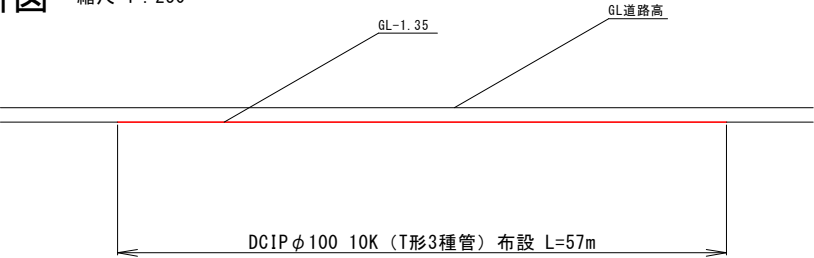
源之谷内用水路復旧工事

平面図 縮尺 1 : 250

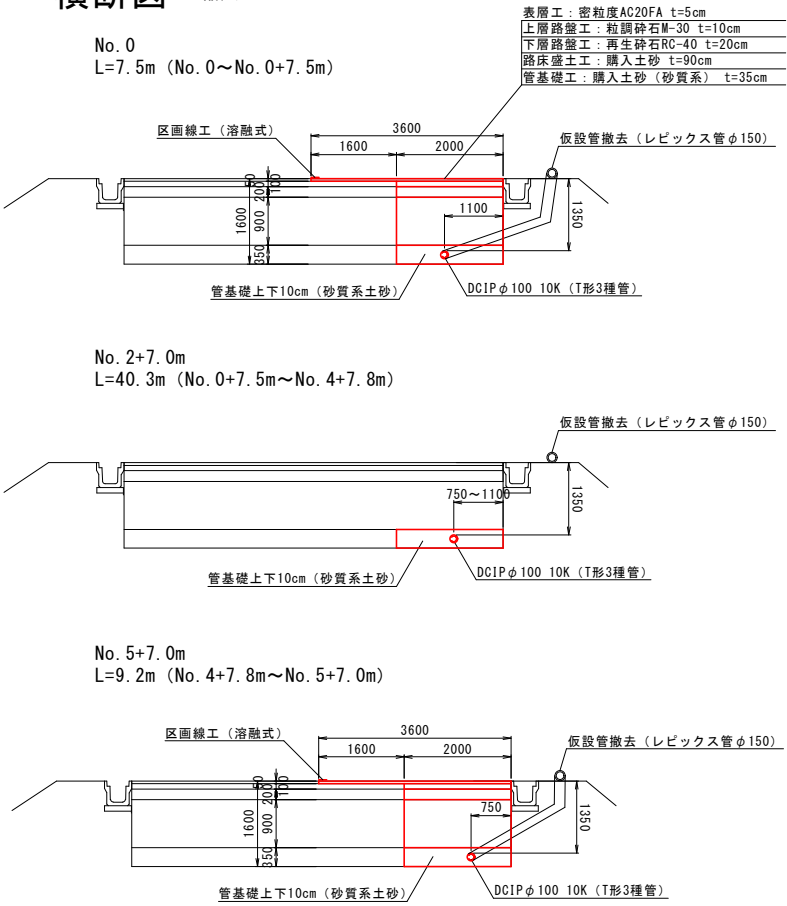


※No. 0+7.5m～No. 4+7.8m区間については管路+管基礎のみの計上とし、
路床～表層については道路課の災害復旧工事にて計上するものとする。

縦断面図 縮尺 1 : 250



横断面図 縮尺 1 : 50



道路復旧面積計算

- L=16.7m (7.5m+9.2m)
- ・舗装版切断: 3.6m*2箇所+16.7m=23.9m
 - ・舗装版破碎 (t=50): 3.6m*16.7m=60.1m2
 - ・AS投運搬・処分: 60.1m2*0.05m=3.0m3
 - ・管基礎: 0.35m*2.0m*57.0m=39.9m3
 - ・路床盛土: 0.9m*2.0m*16.7m=30.1m3
 - ・下層路盤 (t=200): 2.0m*16.7m=33.4m2
 - ・上層路盤 (t=100): 同上
 - ・表層 (t=50): 60.1m2
 - ・不陸整正 (補足材無し): 1.6m*16.7m=26.7m2
 - ・区画線工 (W=150): 5m*2箇所=10m

実施

地区番号	2050	箇所番号	6228
工 事 名	令和6年災 矢田郡地内水路復旧工事		
施工場所	永見市	矢田郡地内	
図面名称	平面図 標準断面 縦断面		
縮 尺	図 示	図面番号	1 / 1
水 見 市			